

稲毛の今昔 ほっこりマップ

こんにちは！稲毛を愛する桃花乙女の会制作のこのマップを、
手に取ってくれたあなた！ありがとうございます！
このマップでは、メンバーが選んだ稲毛の「ほっこりスポット」を、
コメントと共に紹介していきます♡
これを読めば、あなたも稲毛を好きになって
いろいろなところに行ってみたくなくなることも間違いなし！！
それではさっそく、マップを持ってまち歩きスタート！

- P バーキング
- ♡ ほっこりポイント
- 👤 幻の道 (裏面に詳細あり！)
- 🚶 公園トレイル
- 🌳 七不思議ポイント (裏面に詳細あり！)
- 📖 裏面に詳しい内容が
載っているよ！
- ★ 江戸時代の
道標・通しるべ
- 🚶 寺社のマシジベンチ
(表裏の下に詳細あり！)

1 JR 稲毛駅

1899年、総武線がまだ機関車の時代に開設した駅。
煙突からの火の被害を避けるため、住宅街から少し離れた。
今のルートになったそうなんです！
1981年に、快速が停車するようになりました！やったね！

3 明治天皇御立所

明治15年5月、明治天皇が近衛親王御誕生を喜ばるため行幸されたとき、
休息をとられたところ。
明治天皇がお立ちになったことを思うと
なんだか不思議な気持ち…☆+

5 坂の大きな木

この坂に来て枝を大きく広げた
太い木を見ることができます。
昔にははらさの樹が作られ、
子育て中にはつづかれたので
注意が必要！(4月頃)
暑い時期は車を止めお弁当を食べたり
歩いている人は一休みしている姿が
あります (^^^)
枝ぶりはすごく大きく根を張っています

6 アルコール工場跡地

昔はエチルアルコールの工場でした。
あま〜い匂いが漂っていました。
今は大きなマンションが立っています。
ここから、海気館 (現:きらくホテル)
までパイプを敷き、
工場でお湯を運んで
露天風呂にしていたそう！
すごい…!!
パイプに穴があいていた時は
大変だったみたい!!

8 川島写真館

街の歴史・思い出を撮り続けて
60有余年。
家族の大切な記念写真はここで、
という人も多いです。
店主さんと弟さんはまさに瓜二つ！
おっきいのとちっちゃいの、
あなたは見分けがつかない？

10 トキタ薬局

店内には様々な漢方薬が並んでいて、
興味津々！
ダイエットスイーツや
カモミールティーもあるんだって、
くせになりそう… (^^^)

12 野菜果物の 金支 (きんし)

八百屋には珍しいウナギの寝床ならぬ、
『バナナ』の寝床なお店！
と〜っても小さなお店だけれど、
棚には商品がぎっしり！！
こんなものもある！？なんでもあり！！

14 稲毛園

稲毛のムーミンバレー、
店主しゅちゃんさんが笑顔でお出迎え！
季節のお茶と器で、おもてなし。
喉が乾いたら行ってみたら？
独自のアイデアで、
次々に新商品を開発！
稲毛の昔話ならこの人に聞け！
店主のしゅちゃんさんは100歳！！

2 京成稲毛駅

京成電鉄の車両は
当初から「電車」だったので、町中に
電車を構えることができたみたい。
ただ、線路を通す際に山を削り、
その土のやり場に困ったため
浅間神社の『富士五湖』のうちの一つを
埋めてしまったらしい…
※詳しくは裏面の『七不思議』へ

4 なのはな整骨院

筋肉のスペシャリストの整骨院！
オイルマッサージは
一度受けたら病みつき^^
若くて元気なスタッフがお出迎え、
きゅ〜♡

7 サンセルモ玉泉院 稲毛

日々の人と人とのつながりを
大切にしている。
地域密着型の葬儀屋さん。
えっ!!?!?! 葬儀会館にゆるキャラ？
いるんですよ！その名もセルモキーン！

9 ふらわあすたじお 彩 (さい)

店主まちさんのアイデアあふれる
オリジナル商品がいっぱい、
お花のことなら何でも相談できちゃー！

11 日韓家ごはん 新

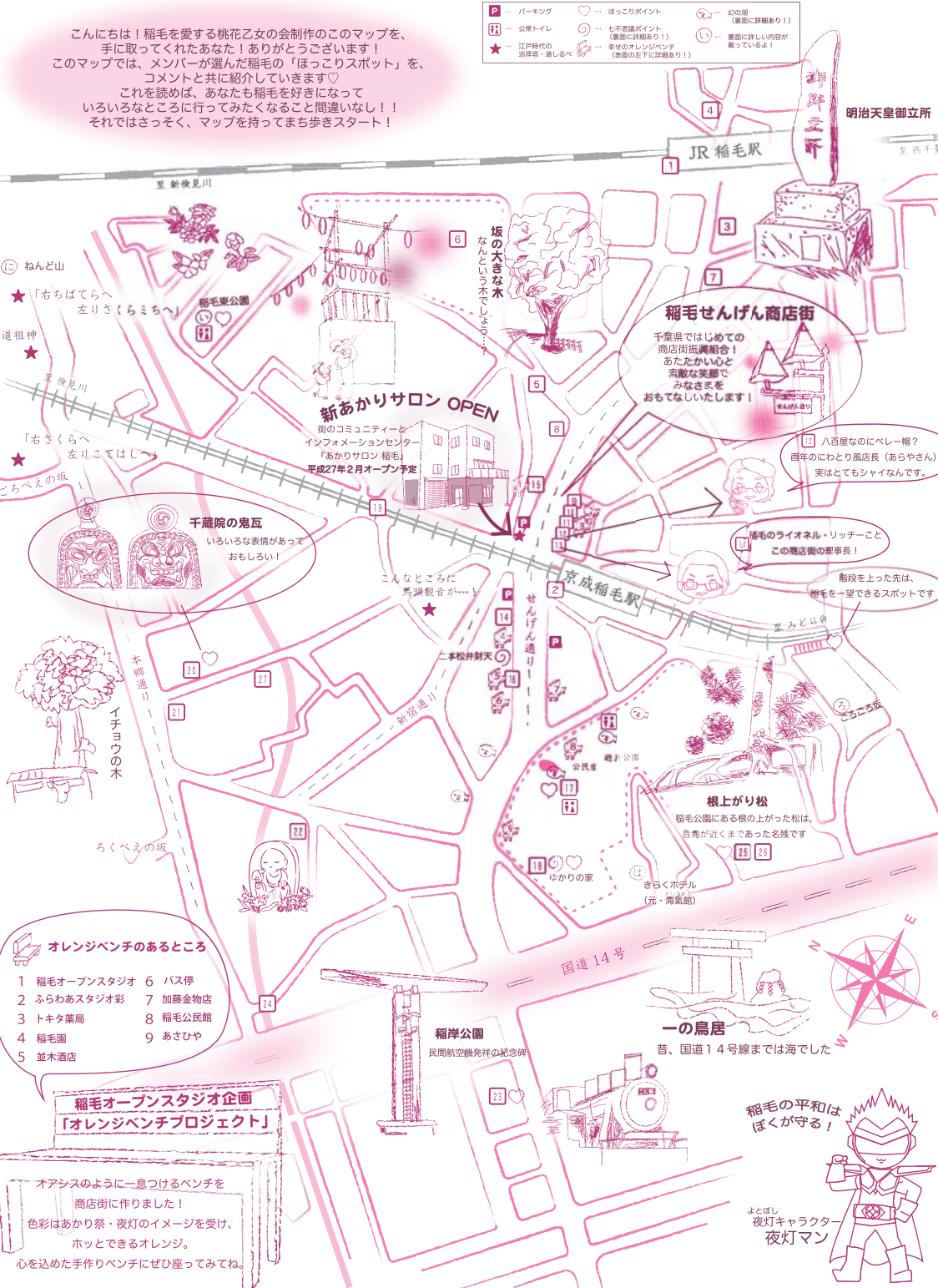
ランチメニューはバイキング。
メンバーの他、
お野菜やサラダやデザートは
好きなものをお好きなだけ^^
遠近徴さんちご来店！！

13 マルイ洋品店

ここは単機か！と思わせる、
稲毛のおばあちゃん御用のお店。
のぞいてみると、
肌によさしいガーゼの手ぬぐいなど
意外な掘り出し物もありますよ！
店主は稲毛のライオネル・リッチーこと
商店街理事長。
子どもからお年寄りまで
みんなに愛される、
稲毛のアイドルおじさんです！

15 稲毛オープンスタジオ

千葉大学の学生団体CHIPSの活動拠点。
アートによってマチとヒトを繋ぐ、
をコンセプトに
アート教室、アートカフェ、
第二土曜市のなどの
様々なイベントを開催！
気軽に立ち寄ってみてね！



16 並木酒店

商店街一古い老舗の酒屋さん、
なんと創業90年!!
浅草神谷バーの創業者神谷伝兵衛の
別荘にちなみ「電気ブラン」や
「緑印寄寓葡萄酒」
(はちしろしろうさんぶどうしゅ)」
を扱うお店です！

17 稲毛浅間神社

大同3年(808年)に勧請された、
富士山を奉った神社。
子育て・安産の神様として
多くの参拝者を集めます。
数々の祭典で、歴史を感じます…

18 ゆかりの家

ラストエンペラー愛新覚羅溥儀の実弟、
愛新覚羅溥儀夫妻の別荘。
築100年ほど。
中庭の小さな池には
いろいろな鳥が水を飲みに訪れ、
昔ながらの日本家屋は
心落ち着く静かな空間です。
日本と中国の橋渡しとして
皇室から清洲へ嫁ぐ途程に
貞明皇太后が贈られた種子がこの白雲木。

4月末から5月に
愛新覚羅溥儀夫妻の別荘。
開館時間
午前9時から午後4時30分
休館日
毎週月曜日・祝日・年末年始
(月曜日はその日と火曜日)
入館料 無料

19 踏切トンネル (第一ガード)

電車が頭の上を通るのを
見ることが出来るトンネル。
地井武男さんちの別荘とかな
電車で通る方は必見!
結構迫力あります!!

20 千蔵院

昔は南蔵院と千手寺があったけれど、
明治30年代に統合して
千蔵院になったんですって！
住職さんに気軽に声をかけてみて、
親切に教えてくれますよ^^
屋根瓦の表情が、とてもおもしろい！

21 大きなイチヨウの木

昔こら辺には南蔵院と千手寺があり、
イチヨウの木は
その中に立っていました。
お寺は統合して
千蔵院となったけれど
イチヨウの木は今もそのま
ま民家の中に立っています！
本当に、大きい!!!

22 弘法大師像と地藏菩薩像

ここは弘法大師像が置かれた
千葉のお道場八十八札所の
二十九番札所です。
その隣の地藏菩薩は、顔をかけると
顔が叶うと言います。遠くから電車に乗って
お参りにくる方もいるみたい。
わたしも何回かおねがいしようかなあ
ちなみに千蔵院には
二十六番二十七番札所があります。

23 稲岸公園

通称「汽車ぽっぽ公園」、
機関車が置いてあります！
昔は14号線まで遠浅の海だったそうで
海が引いたときは土がしまり、
滑走路にびっぴりだったみたい!!
日本で初めて
民間航空機が飛び立った所でもあり、
記念碑も建てています。
とっても広い車庫で気持ちのよい公園！
スポーツにもピッタリ!!

24 草野水路

昔は花園川と呼ばれていた、
ここには今でも
花園橋が架かっています。
川沿いに咲く黄色い菖蒲の花が
とってもきれいだったんだって…
川幅が狭く、
水もきれいで
夏は泳ぐのにぴったり。
うなぎやどじょうも
捕れたみたい！

25 千葉市民ギャラリー・いなげ 行木さん

市民が展示室や制作室として
利用できる施設。
エントランスの周りには、
大正の稲毛を彷彿とさせる
別荘庭園が広がります。
市民の憩いの場となっています。

学芸員の行木さん。
市民が知る稲毛の生き字引き。
埋立て前の海水浴と潮干狩り
で賑わっていた時代の
旧別荘地帯のことなら
こちらに聞くのが一番…
めっちゃお話しが楽しい!!

26 神谷伝兵衛旧稲毛別荘

ギャラリーに併設する、
浅草神谷バーの創業者
ワイン神谷伝兵衛 (1856~1922) が
晩年の大正7年に、別荘として建てた
鉄筋コンクリートつくりの洋館。

建物は洋折衷の造りになっており、
コンクリート構造の建物としては
市内でも最古、
アーチドームのエントランスなど
大正末期のモダンな
風情あふれる建物です。

27 川島 功 氏

稲毛5丁目生まれ育ち、
なつかしい子ども頃の遊びや
暮らしなどを知っている
物知りおじさん。

海苔つくりや野水水路や
なんど山の遊び、
稲毛の隠れた名所まで、
いろんなことを教えていただきました。

稲毛ほっこりかわら版

祭

～大人から子どもまで力を合わせて作り上げる～

稲毛あかり祭『夜灯 一よとぼしー』

埋め立てが始まる前の稲毛の冬の風物詩、
新月の晩に、カンテラの灯で潮溜まりの魚を捕る遊びの漁
「夜とぼし漁」が行われていました。
真っ暗な砂浜にぼつりぼつりといっていくカンテラのあかり…
その小さな明かりにはそれぞれの幸せがある…
そんな素敵な光景を現代によみがえらせたいと、
平成 18 年に始めたお祭りがこのあかり祭です。

街の記憶を未来に伝え、暮らす人々のつながりを大切に、
この街を夢あふれる街に！と願い、小学生や幼稚園保育園児や
稲毛の人たちの手作りの灯籠 6000 個をせんげん通りや
稲毛公園に飾ります。毎年 11 月後半の土日に開催しています。

当時、夏の例大祭に
合わせて小麦饅頭を
各家庭で用意していたよ。
小麦饅頭とはこの日限りの
素朴なふかし饅頭♪
昔は小麦饅頭を配ることが
お祭りへの招待状の代わり
だったんだって。



ちよちゃん

稲毛浅間神社夏の例大祭

稲毛浅間神社は大同 3 年 (808 年)
富士山の浅間大社を祀ったのが始まり。
1200 年以上の歴史があるんだって♪
初詣や節分祭には、県外からも多くの
参拝者が訪れます。
特に夏の例大祭は盛大で、7 月 14 日の
前夜祭・15 日の大祭は、
稲毛の大切な夏の風物詩だね～。

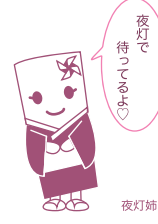


ふじちゃん

例大祭と
せんげん通り祭りは
同じ日に開催されるよ！

稲毛せんげん通りまつり

浅間神社の夏の例大祭を盛り上げようと平成 26 年から
地元商店街の有志や地域住民が始めたお祭りだよ。
お膝元の稲毛せんげん通りを中心として、JR 稲毛駅入口から
美浜区稲岸公園歩道までを通行中心にして、
500 以上の露店が並び、お客さんもたくさん！
夕方になると通りの向こう側が見えなくなるんだって！
稲毛の子ども達に伝統行事を伝え残していくために、毎年開催
する予定！



夜灯姉さん

公園

～四季折々たくさんの人の笑顔で溢れる～

稲毛東公園

春には桜が満開になり、花見客で
賑わいます。子供達の遊び場として、
また大人の社交場・ゲートボール場所
として、親しまれています。

このひろーい公園で開催される
夏祭り盆踊り大会。
夏の子どもたちの楽しみに
なっています♪



もう一つのお楽しみ
☆盆踊り大会☆

櫓 (やぐら) は手作りで一ヶ月がかり
で組み上げています。
露店も自治会の人たちが出店して
います♪

祭りの最後、大抽選会は大勢の
人たちですごく盛り上がるの！

広い公園でシートを
敷き、お花見気分
で盆踊りを楽しんでいる
風景はなんとも
可愛らしいです。



長さん

海

～目を閉じれば波の音が聞こえてくる～

海が近い町「稲毛」

昭和 30 年代後半、海岸の埋め立てが始まるまで、
稲毛は東京近郊の避暑地として、海水浴と潮干狩りの街
として賑わいました。

今の国道 14 号から先は遙遠の海、
国道沿いには納涼台と呼ばれる海の
家がずらりと並び、威勢のいい
呼び込みの声で溢れていたんだって。
4～6 月までは潮干狩りで賑わい、
7～8 月は海水浴のシーズン
9～2 月までは海苔の養殖の季節、
稲毛の生活はいつも海と一緒に
あったんだね。



京成電車を降りると、
海へ一目散！
水着姿で駆け抜ける
子どもたちが
いっぱいいたね



はるこちゃん

このマップを手にとってくれたあなたへ
わたしたちが大好きな稲毛を、あなたにも好きになってもらいたい。
そんな思いで稲毛の町を歩くと、今までの当たり前風景が、ちょびり胸を張れる、
素敵なものにみえてきた。きらきらに満ちた、新しい発見だった。
でも、ふと振り返ると、ずっと昔からわたしたちを優しく包んでくれていたこの町のひとが、
風景が、風の匂いがあった。あなたが今一歩一歩歩いているここは、わたしたちの大好きな町。
どうかゆっくり堪能してほしいです。そしてあなたが、稲毛の町歩きが楽しい！
って笑ってくれたら、わたしたちだって嬉しくて、
笑顔になってしまいます。

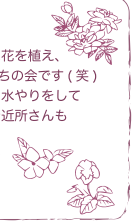
きれいなお花がいっぱい！



おだちゃん

花友の会

草花をばーばーで買った花壇をもう一度きれいな花を植え、
癒しの場所にしようと思った (元) 乙女たちの会です (笑)
今では、季節ごとに色とりどりの花が咲き、水やりをして
くださるお父さん、お花見に来てくださるご近所さん
も多くなりました♪
藤棚の下にはテーブルもあるので、からだを
休めて花壇の花を見るの心が和みますよ。



おだちゃん

稲毛の七不思議

～これを知っていたら博士級?!～

其の三
『稲毛の狐』
秋の夜長の干潟で漁を楽しむ、
カゴが夜長をいっしょにいた頃、
そとそと帰るうかた陸に向かっ
て歩いても、なかなか陸に上
がれない
ことがあったんだって。
朝に周囲を見渡すと、そこは
なんと、カゴの中の魚は、
一匹もいなくなっていたらしい。
狐も化かされたと言われている。
狐も化かされたと言われている。

其の三
『稲毛の狐』
秋の夜長の干潟で漁を楽しむ、
カゴが夜長をいっしょにいた頃、
そとそと帰るうかた陸に向かっ
て歩いても、なかなか陸に上
がれない
ことがあったんだって。
朝に周囲を見渡すと、そこは
なんと、カゴの中の魚は、
一匹もいなくなっていたらしい。
狐も化かされたと言われている。
狐も化かされたと言われている。

稲毛に
七不思議がある
なんてビックリ
あなたはいくつ
知ってた？

其の七
『稲毛の貝塚』
昔稲毛の海は貝の養殖が
盛んだったため、
実を割いた貝が
地面にまかれ
「せんげん通り商店街」
の道は真っ白に
輝いていたんだって！
ステキ！
でも今は舗装されていて
見ることができないんだ…
白く輝く道なんて
ロマンチックだね。



もりちゃん

其の二
『白蛇と二本松弁財天』
今は芝生になっているけど、
昔の「稲毛公園」の池を埋め立てた時、
池から白い蛇が逃げ出したんだって。
白蛇は「京成稲毛裏通り」を通り
「せんげん通り商店街」沿いにある
二本松あたりで姿を消したらしい。
人々はこれを神様のお告げだと思い、
白蛇が消えた場所に「二本松弁財天」を
お祀りしたんだ。
白蛇はそこから、どこに
行ったんだろうかな…

其の一
『幻の湖』
その昔、富士御前である
浅間神社の周辺には、
富士五湖を模した五つの池が
作られていたんだって。
今の「稲毛公園」の芝生の広場を、
昔はそのうちの「つだつたん」
現は「蔵島神社」の池のみ
見られるんだけど、
五つの湖がそろういた昔の様子も
見みれたかなあ。

☆幻の湖の場所は表面地図の
のマークのところでよ！

其の四
『稲毛の長男はコハダを食べない』
いろんな説が言われているけど、
昔、稲毛と検見川のお神輿は
どちらが大きいのかケンカになった際、
稲毛の人はキューリを、
検見川の人はコハダを
お互いに投げつけたんだ。痛い！
そしてそれ以来自分たちに出たものを
食べなくなっちゃったとか…。
皆はケンカも、食べ物も粗末にするのも
やめようね。

其の五
『黒い川』
貝の他に海苔の養殖も
盛んだった稲毛では、
冬になると通り沿いには
軒先から黒い海苔の干し
海苔を干していたとか。
屋根に並ぶ海苔の様子
が、川に見えたことば
当時かなり収入源
だったのかなあ。羨ましい…。

編集後記

制作 桃花乙女の会
(長橋テル子、織田弘江、菊地せつ子、藤平紀子
山間司子、山下春子、和田千代)
千葉大学CHIPS (芦田ひかり、木俣奈津、西川真央、宮内美穂)
稲毛商店街振興組合 (理事長：若井雅喜)
発行日 2014年10月10日 お問い合わせ 海宝周一 (070-2173-2458)
監修 藤田とし子 (まちとひと 感動のデザイン研究所)
このマップに記載されている情報は、
2014年8月時点のものです。未来の稲毛では、
もっとすてきなほっこりスポットが増えていくかもしれません！
また、季節・天候によっては見られないものも取り上げます。
お目当てのものが見られなかったときはごめんなさい！
シーズンになったらまた来てください。
四季おりおりに変化する稲毛で、お待ちしております。

私とマップ作りの 90 日 ～ご協力くださった全ての人たちへ、感謝をこめて～

マップ作りで仲間との和ができて
KAGAYAKE ハッピー (長さん)
歴史ある稲毛に住んで、ほっこり！
(おだちゃん)
夏の暑い盛りに、歩いて歩いての
マップ作り (〆) (きくちゃん)
暑さにめげず歩き、知らない事ばかり
少し知知知になった (ふじちゃん)
初めての体験 マップの完成楽しみ
(もりちゃん)
自分も知らない事が多く、勉強に
なりました (はるこちゃん)
自分の町、知らないところがいっぱい
わくわく楽しいマップ (ちよちゃん)
多くの人と関わり、とても良い
経験になりました (CHIPS)

☆このマップを作るにあたって、川島さんをはじめとする地域の皆さん・
稲毛浅間神社・千蔵院・千葉市民ギャラリー他たくさんの皆さんに
ご協力いただきました。本当にありがとうございました！